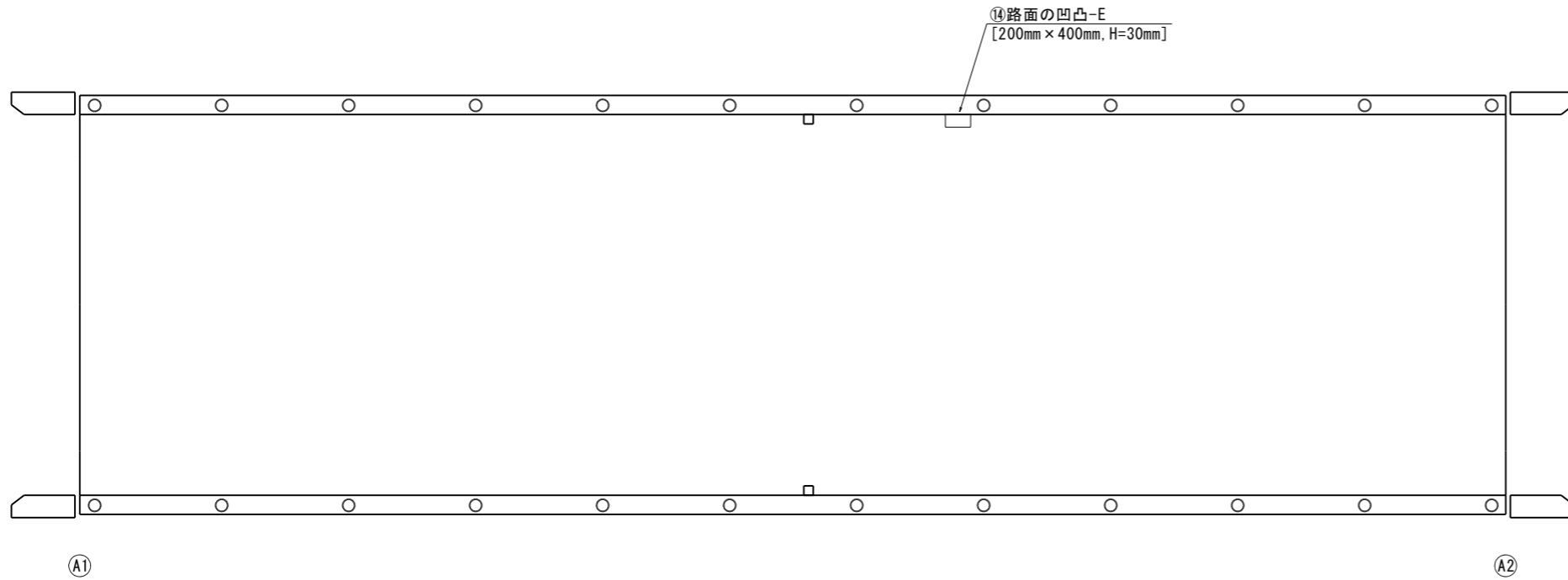


断面修復補修詳細図

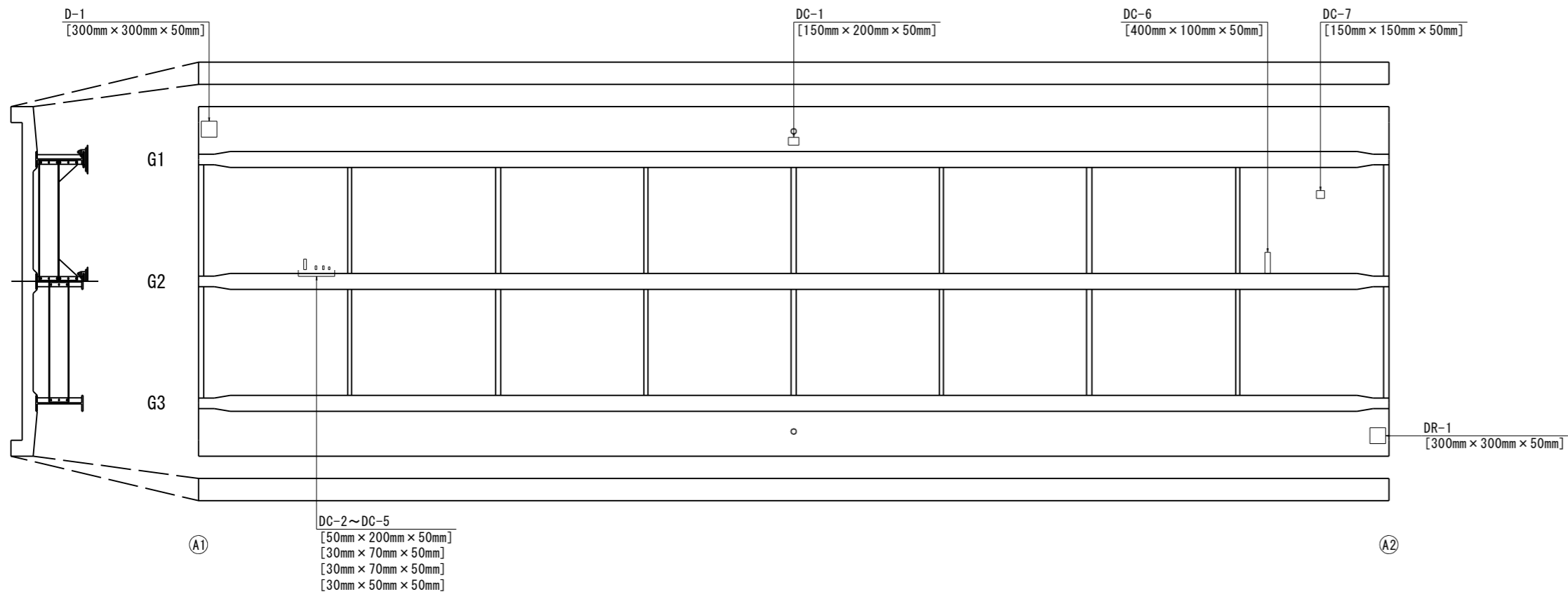
橋面コンクリート舗装 断面修復補修図

平面図 S=1/50



上部工（床版）コンクリート断面修復 補修図

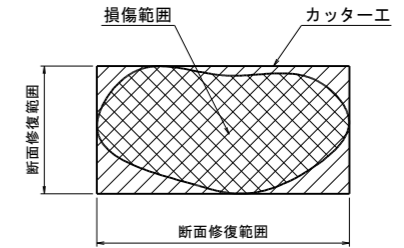
平面図 S=1/50



断面修復工詳細図

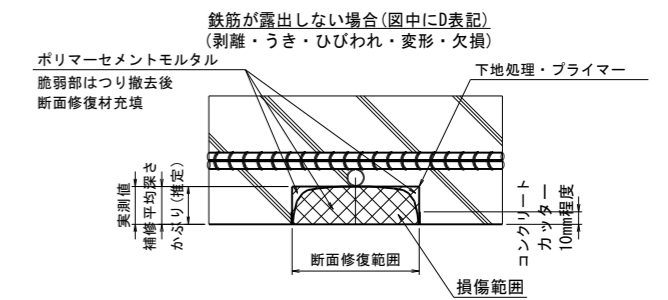
(左官工法)

平面図

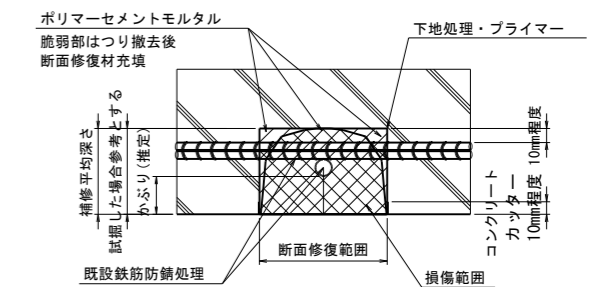


- ・フェザーエッジとならないよう、カッター工(10mm程度)を行なうこと。
- ・鉄筋が露出した場合は、既設鉄筋の表側10mm程度を目安にはつること。また、腐食部のほか周囲の健全な鉄筋まで防錆処理を行うものとして補修範囲・深さを決定すること。
- ・既設鉄筋が腐食し断面減少が著しい場合は、添え筋を検討すること。
- ・欠損部については損傷深さと同一とし、図中に記載の d=00mm 表記を参考にすること。
- ・上部工のうきについては、はつり調査の結果を参考に深さを想定すること。
- ・鉄筋が露出し十分なかぶりを確保できない場合、断面修復材を盛ることでかぶりを確保すること。

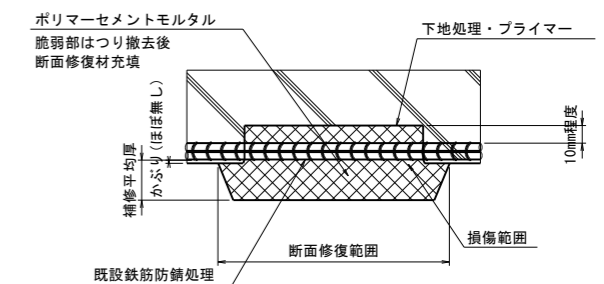
断面図



鉄筋が露出した場合(図中にDR表記)(鉄筋露出)



鉄筋が露出した場合(かぶり不足)(図中にDC表記)(鉄筋露出)



工事名	令和5年度 東町・西山線(三井橋) 橋梁補修詳細設計業務委託 那須町大字湯本東町地内		
図面名	断面修復補修詳細図		
作成年月日	令和6年2月29日		
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
事務所名	栃木県 那須町		